

運営方針

子ども未来部では、教育大綱及び教育推進プランに基づき、「ふるさととのつながりによる豊かな学び～輝く人づくりのために～」を合言葉に、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）や小中一貫教育（つながりアップ事業）をより一層推進し、学びの連続性を重視しながら、地域総ぐるみで「連携」から「協働」に向けた教育システムの確立に取り組んでいます。

また、多くの子育て支援者や事業者とつながりを築き、子育て家庭が孤立することのないよう地域全体で支えあう仕組みにより、「家庭の力」を付けていくことが重要と考え取り組んでいます。

子どもたちが「ふるさと河内長野」を愛し、市民に「子どもを育てるなら河内長野で」と思ってもらえるよう、豊かな教育と子育て・子育てしやすい環境の充実に全力で取り組みます。

【重点施策とめざす方向】

家庭・地域との協働による学校づくりの推進
（「学校運営協議会制度」の充実）

市内全小学校で、保護者や地域住民等が学校運営に参画し、学校と地域の人々が一体となった「学校運営協議会制度」をより一層活性化する取組みを推進します。

また、将来の学園化に向けて、中学校区を中心とした制度への移行を進めます。

【実績】

目標どおり達成

学校運営協議会制度のより一層の活性化と着実な推進のために、市内全小中学校の関係者が参加する全体研修会を開催するとともに、各協議会の運営面の進捗を確認しました。

また、中学校区での学校運営協議会制度のあり方を研究するため、各中学校区で協議会の持ち方を調整するなど検討を始めました。

グローバル化する社会に対応し、豊かな未来を築く力を育む、幼児期から一貫性のある教育の推進

市内全中学校区で、9年間の義務教育の連続した学びの実現をめざす「小中一貫教育」の取組みを一層進めます。特に英語を中心とした学力の向上に係る取組みを推進します。

また、幼児期からの連続した教育の推進に取り組めます。

目標どおり達成

市内全中学校区で小中一貫教育の取組みをより一層推進するために、各中学校区での成果報告会を開催し取組みの交流を進めました。また、子どもの英語力の向上のため、各中学校区で研究授業を開催し、教員の指導力の向上を図りました。

また、公私立保幼小連絡会において保育所の見学会を開催し、幼児期から小学校段階へのスムーズな接続の取組みを進めました。

学校教育を支える教育環境の充実

安全・安心な学校施設の確保と地域の防災拠点としての機能強化のため、学校施設の耐震対策や空調整備を進めます。

また、子どもの学力の向上と学校校務の効率化のため、学校ICT環境を充実します。

目標どおり達成

予定どおり全中学校7校の校舎の非構造部材の耐震対策工事と、空調整備工事の実施設計を実施しました。

ICT機器も計画どおり小学校7校にタブレット併用型パソコンを導入し、全小学校のパソコン教室のパソコンを更新しました。

地域における子育て支援の充実

安心して子育てができ、一人ひとりの子どもが健やかに成長できる子育て環境の整備に、市民や事業者等の協力を得ながら取り組みます。

目標どおり達成

つどいの広場事業の実施や地区福祉委員会が主催する子育てサロンへの支援により、子育てを地域で支える仕組みづくりを推進しました。

地域で活動する市民や事業者、団体等との連携を強化し、子育て家庭に対して相談支援を実施する子育て利用者支援事業を推進しました。

また、幼稚園、認定こども園、保育園への訪問相談により、園と協力して発達支援の必要な児童や保護者の支援を行いました。